

会長報告（平成 29 年 4 月理事会報告）

① 全学同窓会事務局からのメール連絡

本年 6 月に市大植物園で開催される日本植物園協会主催行事への寄付募集に関する依頼が全学同窓会事務局からありました。同事務局との調整の結果、「工学部同窓会HPに寄付依頼文の掲載を検討する」こととなりました。

→役員会でご相談し、工学部同窓会HPに寄付協力依頼文（別紙参照）を掲載することとし、先日アップしていただいたのでご覧ください。

② 3月18日有恒会支部代表者会議出席

表記に来賓として招かれたので出席しました。当日、学長・副理事長から市大・府大統合に関する説明、質問への回答がありましたので以下に要点をメモします。

＜京極副理事長の発言＞

- ・ 現在のスケジュールは平成 31 年法人統合、平成 34 年度大学統合となっている。
- ・ ただ、府知事、市長の意思で検討が進められているが最終的には議会の承認が必要でまだまだ不明確。
- ・ 府市と両大学での 4 者タスクフォースで検討しており、4 月には法人統合に向けた準備室ができる予定。
- ・ 両大学の統合は議会での議論次第だが 3 月議会では他の案件に埋もれて実質的な議論があまりなかった。
- ・ 大学サポーター室と全学同窓会事務局との連携をさらに進める準備を進めている（手始めに卒業生名簿管理の一元化などを検討しており、事務局の統合も視野に入れている）
- ・ 4 月以降にステークホルダーへの意見聴取がある見込み。
- ・ 松井知事、橋下市長時代は 2 重行政排除、行政改革がスタートとなったのは事実であるが、現在は都市問題の解消、産業活性化に取り組む大学とすべきと市長、知事も認識していて、両大学を統合してそれらの都市問題に取り組むこととしている。
- ・ 大学からはそれには財源や人材確保が必須と説明している。

＜荒川学長の発言＞

- ・ タスクフォースでは統合の「よいこと」ばかりではなく「悪いこと」も議論してもらうよう強く申し入れている。
- ・ 当初は大学の運営交付金を減らす議論がされていたが現知事、市長からは統合を理由に減額しないとの確約を得ている。
- ・ 両大学のブランド力をつけることが重要と常々考えている。
- ・ 現在国内ランクでは 18 位で、神戸大学より上である。世界ランクでの 500 位前後を 200 位台に持っていきたい。
- ・ 他大学に比べ卒業生からの寄付が少ないのでブランド力を上げ増やしていきたい。
- ・ 研究分野横断の大学発のベンチャーを立ち上げるべく準備中。健康をキーワードとしている。

③ 3月21日卒業生を祝う会に出席

表記に出席し、簡単にあいさつしました。森田さんがHPにアップしていただきましたのでご覧ください。

④ 4月6日役員会開催

役員会を吉田・神門・森田・斉藤・貴志副会長、東会計担当、事務局弓場さんの出席のもと開催し、今年の運営方針、開催日程等についてご相談しました。